



「社会全体で子どもをはぐくむ運動」フォーラム開催！

新潟県地域家庭教育推進協議会事務局

平成18年10月から12月まで上越・中越・下越・佐渡の4地域で、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の定着促進と地域の活動団体のネットワークを図ることをねらいに開催しました。

【上越地域】12月9日（土）9:30~16:00

会場：上越市市民プラザ 参加：250人

- ①講演「子どもも 私も 大切に」
恵泉女学園大学大学院教授 大日向雅美氏
「わいわい子育てフォーラム2006」で実施
- ②ポスター展示・活動紹介：26団体
- ③研究協議：実践発表4団体
- ④親子・子どもイベント：楽しい工作など

【中越地域】10月29日（日）10:00~16:00

会場：魚沼市中央公民館 参加：220人

- ①講演「地域におけるネットワークづくりの手法」岸 裕司氏（秋津コミュニティ顧問）
- ②ポスターセッション：4団体
- ③研究協議：実践発表1団体
- ④子ども広場：ニュースポーツ、そば打ち等

【下越地域】12月3日（日）10:00~16:00

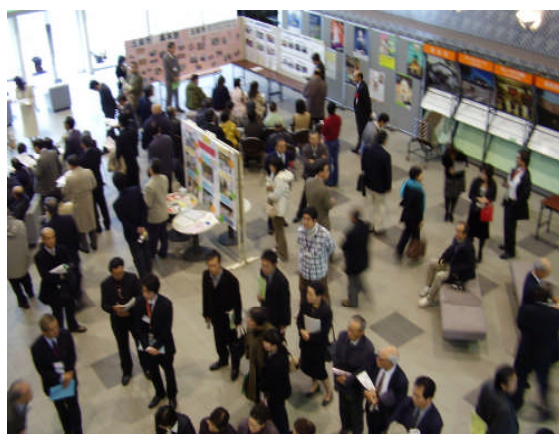
会場：村上市民ふれあいセンター 参加：200人

- ①講演「ささえよう子育て 見つめよう子育て」中央大学教授 広岡守穂氏
- ②ポスターセッション：16団体18事例
- ③研究協議：実践発表2団体

【佐渡地域】11月19日（日）13:00~16:30

会場：アミューズメント佐渡 参加：700人

- ①講演「子どもの力と地域の教育力」
茨城大学助教授 長谷川幸介氏
- ②ポスターセッション：8地区
- ③事例発表：3地区



【下越地域フォーラム・ポスターセッションの様相】

フォーラムでは、県内でさまざまな活動が実践されていることが改めて分かりました。また、ポスターセッションや研究協議などを通して、これからの活動につながる知識が得られました。参加団体同士の交流も図られ、大いに意義があったといえます。参加者からも「早速自分の地域で活かしたい。」といった前向きな意見を多数いただきました。フォーラムの様子は、「はぐくみネットワーク」（広報紙は2月、事例集は3月発行）でも報告しますので、あわせて御覧ください。

また、フォーラム開催にあたって、御協力いただきました関係市町村教育委員会、団体の皆様に感謝申し上げます。

●問合せ先：新潟県教育庁生涯学習推進課
TEL 025-280-5617
FAX 025-284-9396

社会教育主事講習B・新潟会場

平成18年度社会教育主事講習（B）が、1月17日（水）～2月23日（金）の38日間、受講者13名（うち分割受講者5名）で行われました。

この講習は、国立教育政策研究所社会教育実践センターを主会場として、北海道、新潟県、静岡県（2会場）、島根県（2会場）、広島県を受信会場に衛星放送で結んで行われました。当センターでの講習は、5年目となります。

前半に行われる「生涯学習概論」「社会教育計画」「社会教育特講」では、新潟会場からのファックスによる質問が多く、講義終了後に講師から「今日は新潟会場から質問はないの。」と特定されるほど熱心に受講していました。

後半に行われた「社会教育演習」の施設見学は、新潟市生涯学習センター（クロスパルにいがた）と新潟スタジアムビッグスワン（新潟県スポーツ医科学センター見学含む）、宿泊研修は新潟県少年自然の家で行いました。宿泊研修の新潟大学篠田邦彦助教授の「生涯スポーツの実際」ではフィットネスウォーキングの実習をしました。講師への質問が多く出て、翌日に筋肉痛の人が出るほど積極的でした。

社会教育事業の企画・立案・実施、社会教育関係団体の活動に対して助言・指導等のできる資質を養う講習は、今後ますます重要になってくると思われます。今年も受講生は仕事の調整をし、中には数年計画で講習を修了する予定で参加している方もいます。終了後のアンケートを見ると「無理をしても受講して良かった。」と受講生が回答しています。次年度も衛星放送による新潟会場での講習会を計画していますので、ぜひ御参加ください。



宿泊研修「生涯スポーツの実際」

～ 会場：新潟県少年自然の家 ～

いつでも、どこでも、自分の希望するものが学べる「いきいき県民カレッジ」

「いきいき県民カレッジ」は、平成4年度のスタートから今年（平成18年）度で15年目になります。この間、各市町村をはじめ、大学・短大等の高等教育機関、財団・社団法人等多くの参加をいただき、その機関数は年間125機関、登録講座数は年間1480講座（平成19年1月末現在）、受講者数は昨年度実績で年74,000名以上（今年度は未確定）、昨年度までの14年間で延べ540,000名を超えています。また奨励賞の受賞者も、今年度はチューリップ賞（50単位）から学長賞（500単位）までの合計で延べ350名（平成19年1月末現在）を超え、スタートからの累計で延べ7,660名を超えました。まさに「県民カレッジ」というに相応しい、一大事業と言えましょう。

今年度の特徴の一つは、小学生の皆さんの活躍が多く見られたことです。すでに『講座一覧 秋号』でも御紹介したとおり、新潟市潟東ゆう学館（旧潟東村）では「わくわくドキドキ子どもクラブ」に参加している多くの小学生から奨励賞の受賞者が出ました。児童・生徒と地域の方々の交流を深めその健全な育成を図るためにも、この様な傾向が今後も続くことを期待します。

来年度もさらにNPO団体や社会教育機関等の参加が増え、「いきいき県民カレッジ」が県民の多くの皆様の学習に寄与することが望めます。

19年度春号の発行は、4月中旬の予定です。

いきいき県民カレッジ本部：新潟県立生涯学習推進センター

※詳しくは、ラ・ラ・ネットを御覧ください。

県立青少年研修センター 平成19年度 主催事業の御案内



【青少年指導者養成事業】

◆いきいき体験学(対象:18歳以上の青年・青少年指導者等、高校生を除く)

回	日程	タイトル	主な内容
第1回	5月12日(土)・13日(日)	野外活動指導編	野外炊事・キャンプファイヤー等野野外活動を中心とした指導法
第2回	7月14日(土)・15日(日)	海浜活動編	海浜レク・野外炊事・テント泊等
第3回	9月22日(土)・23日(日)	レクリエーション編	レクリエーション指導法
第4回	11月10日(土)・11日(日)	ワークショップ編	ワークショップの基本

◆家族で楽しむわくわくランド(対象:親子・家族、子どもは小学生以上)

第1回	7月28日(土)・29日(日)	どんと遊ぼう! 家族で夏を	海浜レク・キャンプファイヤー・磯辺の事前観察・海釣り等
第2回	10月13日(土)・14日(日)	どんと遊ぼう! 家族で秋を	芋掘り・搾乳体験・ハロウィンかぼちゃ作り・ナイトハイク等
第3回	3月 1日(土)・ 2日(日)	どんと遊ぼう! 家族で春を	笹団子づくり・キャンドルファイヤー・昔の遊び等

【グループワーク研修】(対象:教員・青少年教育担当者等)

第1回	2月9日(土)～11日(月)	気づきと関わりを学ぶ	GWT(グループワーク)の実際
-----	----------------	------------	-----------------

【学校教育活動支援事業】

◆中学生リーダーカレッジ(対象:中学生)

第1回	12月22日(土) ～24日(月)	明日の学校を創るのは君だ!	GWT・行事の企画運営
-----	----------------------	---------------	-------------

◆高校生リーダーシップ研修(対象:高校生)

第1回	1月12日(土)・13日(日)	創りだそう!輝く学校	GWT・行事の企画運営
-----	-----------------	------------	-------------

●問合せ先:県立青少年研修センター TEL0256-77-2111、FAX0256-77-2114

生涯学習取組事例集～平成18年度の県内各地の生涯学習の取組を紹介～

今年度当生涯学習推進センターでは、従来作成していた「学習プログラム事例集」の内容を刷新し、県内の様々な取組事例を紹介して、市町村・関係機関の事業推進を支援することを趣旨とした事例集を作成中です。

県内各市町村や当センターを含め、県内の生涯学習関係機関(団体)等が平成18年度に取り組んできた多くの事例が集まり、現在編集作業を進めています。

完成は3月上旬を予定しており、完成後に県内各市町村及び生涯学習関係機関(団

体)へ送付します。来年度事業の参考に御活用ください。

また、活用後の取り組みの様子等もお知らせください。今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、御意見・御要望もお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、予備がありますので、御希望の(活用いただける)方は当センターに御連絡ください。

※プログラム事例集は、当センター「生涯学習資料閲覧室」で自由に御覧いただけます。

新しい視聴覚教材の紹介

新しく当センターの所蔵となった主な視聴覚教材を紹介します。教材は高等学校以上の高等教育機関及び当センターの登録団体、各地域視聴覚ライブラリーへ貸し出しが可能です。なお、月1回の映画・ビデオ鑑賞会で広く県民に公開しています。詳しい内容は、ラ・ラ・ネット「視聴覚教材」を御覧ください。http://www.lalanet.gr.jp/

- ・「**地域の虐待防止**」 家庭教育/VHS/ 26分
- ・「**安全な自転車ルール**」 交通安全/VHS/ 20分
- ・「**壁のない街**」 人権教育/VHS/ 35分
- ・「**らくだの涙**」 心の教育/VHS/ 40分
- ・「**ニホンザルモズ(二十六年の生涯)**」 動物、心の教育/VHS/ 52分
- ・「**植村直己の足跡**」 紀行・人物/VHS/ 60分

平成21年5月までにスタートする「裁判員制度」について、法務省と最高裁判所が企画・制作した広報用映画もオススメです。

- ・「**裁判員制度**
～もしもあなたが選ばれたら～」
中村雅俊、西村雅彦 等の出演
2005年制作、劇映画、58分
- ・「**評議**」
榎木孝明、小林稔侍、藤田弓子 等の出演
2006年制作、劇映画、62分



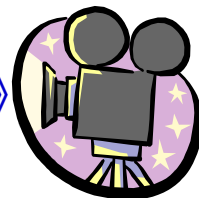
*当センターの視聴覚教材は、ラ・ラ・ネット(新潟県生涯学習情報提供システム)で検索ができ、当センター登録団体が利用できます。

“さわやか”メール

◆図書館によく来る人から聞いた話。「退職して、今は午前中に英語の勉強を図書館でしています。昔からのあこがれで、今とても充実しています。午後はボランティアの配食サービスを週何回かやっています。」と…。そこで、ボランティアを始めたきっかけを聞くと、「充実しているから、人の役に立ちたくなっただけです。」との返事。話を聞きながら、ある公民館の「60歳からのピアノ入門」という人気事業を思い出しました。そこには、幼い頃からのあこがれの実現があり、人が満たされて生きることのかけがえのなさがあります。大勢の方々が退職される時代にあって、すぐに「世のため、人のため」ではなく、個々の歴史を背景として、それぞれが満たされていくようエールをおくることがまず必要です。多様で豊かな、奥行きのある学びの機会や情報の提供が求められています。

◆「子どもの脳の育ち方」講演会(講師:大島清氏)を企画し、申込受付を開始したところ、短期間で満席となりました。この人気は何なのか。講師の知名度もさることながら、今、最も困難さを抱え、混乱していると言われる「子育て」について、明解な科学的根拠や基盤となる考え方が強く求められているからだと感じました。時代の進むべき方向を的確に示唆する学びの機会の提供がいかに大切かを思い知らされました。

《映画・ビデオ鑑賞会のお知らせ》



- ◆入場無料・申込不要
- ◆満席になったときは、入場できません
- ◆新潟県立生涯学習推進センターホール (186席)

3月25日(日) 13:30~15:10

「越後奥三面

～山に生かされた日々～

第1部「山人の正月」

第2部「狩りの季節」

第3部「ゼンマイ戦争」

1984年制作/記録画/各30分

4月22日(日) 13:30~14:40

「越後奥三面

～山に生かされた日々～

第4部「夏から秋へ」

第5部「冬とダムがきた」

1984年制作/記録画/各30分

5月27日(日) 13:30~15:20

「評議」(裁判員制度広報用映画)

2006年制作/劇映画/62分

企画・制作:最高裁判所

「特別企画 “裁判所Q&A”」

講師:新潟地方裁判所裁判官(予定)

協力:新潟地方裁判所

新潟地方検察庁(予定)

*諸般の事情により内容を変更する場合があります。

アンコール上映会のお知らせ

4月22日(日) 11:30~12:40

「男のロマン 植村直己の足跡(トレス)」

◎入場無料ですが、事前の申込みが必要です。